

iPad (GIGA 端末) 活用実践事例

宇都宮大学共同教育学部附属小学校：指導者：大塚 智大

| 学年 | 教科・領域等 | 単元名・題材名等 |
|----|--------|----------|
| 4 | 図画工作 | 光の下で… |

1. iPad 活用のポイント

(1) 本時の目標

光に当てることで変化する材料のよさや面白さを生かした材料の取り入れ方や加工の仕方などを試しながら、自分の想像する幻の生物の表し方を考えることができる。

(2) 活用アプリ

■ ロイロノート、レポクラフト

(3) GIGA 端末以外で利用した機器

なし

(4) アプリの活用場面と目的

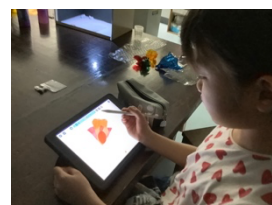
オンライン
 オフライン

授業での活用場面（授業概要）

様々な材料に光が当たった時の面白さを感じながら、自分の表したい幻の生物を想像し表現していく題材である。題材導入で、グループごとの机にミニ暗室の中に、様々な反射する材料、透過性のある材料を置いて楽しむ活動を行い、光の当たり方や形を変えた時の違いを感じる。その中で感じ取った光や材料の特徴や加工の仕方による感じ方の違いを生かし、使い方や組合せ方を工夫しながら表現する。活動中や振り返りにおいて、レポクラフト（評価アプリ）を活用し、その時間の作品を写真に撮って蓄積し、導入や終末で取り上げて、互いの思いの実現に向かって表現を深めていけるようにした。

2. iPad 活用の画面例（写真等）

前時では、材料の特徴を味わった後に、どんなものを表現していきたいか構想を練る時間を設定した。材料を実際に手にしながら考える子どもがいる一方、ロイロノートを使って図に表して考えたり、書き込みをしたりしながら構想を練る子どもが見られた。

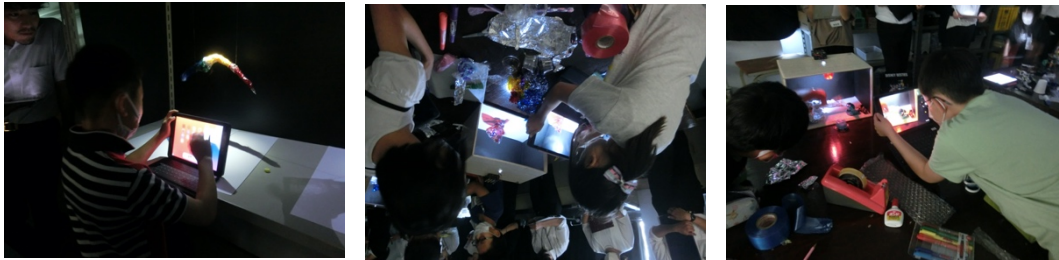


前時までの作品を、レポクラフトを使って作品を共有できるようにしておくことで、授業の導入において、よさを全体に広げたり、つまずきを感じている子どもが表現の見通しがもてるようにしたりするための提示をする際に活用した。また、授業開始前や表現の途中など自分のタイミングで友達の表現を見ることで、表現や工夫のよさに触れたり、自分の表現に取り入れたりすることができた。



表現をする中で、自分のタイミングで iPad を使い、作品を写真に撮ってよいことにした。子ども

たちは、写真に撮ることで、光の当たり方による見え方の変化に気付き、形のつくり方や材料の組合せ方をさらに工夫することができた。また、終末には、次時の活動への見通しがもてるように、自分の取組みに対する自己評価と、現時点で、うまくいっているところや課題となっている部分などを写真に撮り、記録するようにした。



【レポクラフト：みんなの作品】



【レポクラフト：振り返り】



3. 効果と課題

(1) iPad (アプリ) を活用して効果的だった点

| | | | | | | |
|------|-------------------------------------|------------|--------------------------|----------|-------------------------------------|----------|
| 一斉学習 | <input checked="" type="checkbox"/> | 教師による教材の提示 | | | | |
| 個別学習 | <input checked="" type="checkbox"/> | 個に応じた学習 | <input type="checkbox"/> | 調査活動 | <input checked="" type="checkbox"/> | 思考を深める学習 |
| | <input type="checkbox"/> | 表現・制作 | <input type="checkbox"/> | 家庭学習 | <input type="checkbox"/> | |
| 協働学習 | <input checked="" type="checkbox"/> | 発表や話し合い | <input type="checkbox"/> | 協働での意見整理 | <input type="checkbox"/> | 協働制作 |
| | <input type="checkbox"/> | 学校間の交流 | <input type="checkbox"/> | 家庭学習 | <input type="checkbox"/> | |

- ・ 本時で使用したアプリを活用したことで、毎時間の振り返りにおいて写真を撮りためて、記録を蓄積ができるため、自分の表現の過程を振り返ることができてよかった。
- ・ 席が離れた友達の作品でも気軽に見たり、よさを取り入れたりすることができた。全体で共有する際にも、容易に取り上げて提示することもでき、個々の思いに合わせて表現を深めることができた。また、互いの作品のよさを見付けて、「いいね」を使って送ったり、コメントを書き込んだりすることができるため、友達からの評価を自信につなげることができてよかった。

(2) iPad (アプリ) を活用して課題に感じた点

| | | | | | | |
|------|--------------------------|------------|--------------------------|----------|-------------------------------------|----------|
| 一斉学習 | <input type="checkbox"/> | 教師による教材の提示 | | | | |
| 個別学習 | <input type="checkbox"/> | 個に応じた学習 | <input type="checkbox"/> | 調査活動 | <input checked="" type="checkbox"/> | 思考を深める学習 |
| | <input type="checkbox"/> | 表現・制作 | <input type="checkbox"/> | 家庭学習 | <input type="checkbox"/> | |
| 協働学習 | <input type="checkbox"/> | 発表や話し合い | <input type="checkbox"/> | 協働での意見整理 | <input type="checkbox"/> | 協働制作 |
| | <input type="checkbox"/> | 学校間の交流 | <input type="checkbox"/> | 家庭学習 | <input type="checkbox"/> | |

- ・ 振り返りで作品を撮影する際、写真の撮り方によって表現のよさや工夫が伝わりにくくなってしまいう子どもが見られる。書き込みをすることで伝わらない部分を補うことができるが、時間がかかってしまうため、撮影の際のポイントを伝えるなどの工夫が必要。